

相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター26号 2006.1.28発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 大館 学
編集長 近藤 真史

定例活動／12月24日(土)「梅の剪定と門松づくり」

伊藤 晶子



▲今回は多くの子どもたちが加わって、賑やかな記念撮影となりました！

2005年の森くらぶの活動は全てまずまずの天候に恵まれました。12月の活動日も前日は大雪で、当日も雪の予想で気をもみましたが、早朝に雨が上がり、開始時には日が差してきました。会員13名と豊田工大のボランティアの学生さん2名の特別参加を得て賑やかな活動になりました。

柔軟体操の後、山根口の門松づくり、梅林の剪定、林内の枯れ松除去等の作業に取りかかりました。

竹を切る人、松、梅、南天、うらじろ、熊笹等の材料を集める人、門松の土台づくりをする人、組み立てる人と、各自が阿吽の呼吸で動き、作業はどんどんはかどっていきました。前日の雪

が残る不安定な足場での作業でしたが、誰一人ケガすることもなく、寒さを忘れて励みました。

午後は高坂学童クラブの児童19名が加わり、ミニ門松を作りました。輪切りにした青竹の器の中に松や梅などを生けましたが、子どもたちは発想豊かにオリジナルを作って楽しんでいました。



子どもたちのオリジナリティあふれる「ミニ門松」

風が冷たくなった頃、完成した門松の前に全員集合、良き新年を願い、記念撮影をして納会としました。

11月18日 (金)

「セネガル林野庁長官 (?)、オアシスの森へ」

小池 敦夫

ある日突然、(社)日本森林技術協会の知り合いから電話があり、セネガルの森林局長(日本の林野庁長官に当たる)がJICA(国際協力機構)の研修により「日本の地方自治体における住民参加による森林保全・管理体制」を視察するので、相生山緑地オアシスの森を案内して欲しいとのこと。

研修当日、森林局長は林野火災のため研修は急きょ取り止めになりましたが、代わりにチャムコーディネーターとジャーニュー部長補佐のお二人に、通訳など合計4人が、天白区役所に集合。

区長さんと面会し、我がくらぶの"クラフトマスター"である森さん手製の竹クラフトをおみやげとしてお渡しした後、1時間くらいかけて森くらぶの活動をスライドで説明、その後オアシスの森へ。

天気は快晴、森さんも現地で待ち受けていて、天白区役所や天白土木の尾崎さんも加わり、みんなでオアシスの森を案内しました。我々の手厚い対応に非常に感激して帰って行きました。

ところでセネガルってどういう国か知っていますか?パリ・ダカールラリ

ーは知っている人も多いですが、このダカールというのがセネガルの首都、フランス語圏でイスラム教徒だそうです。

オアシスの森も国際化かな?



定例活動／10月22日(土) 「第7回どんぐり祭り」

大館 学

「♪テントもない、ガスコンロも鍋もない、テーブル・椅子も何にもない。♪あら、こんな村いやだー。」となるか？5月の小屋火災で道具の大半を失った中で迎えるどんぐり祭り。雨が降ったらどうしよう。人が集まらなかったらどうしよう。不安いっぱいでしたが、心配することなかったよ。

例年通り名古屋市との共催ということで、テーブル・椅子は天白土木事務所から応援してもらい(子供には算数セットの記念品付き)、トン汁用のコンロと鍋はレンタルで用意して、あとはお客様。天候にも恵まれて、今年は広報なごやに加え、地域のミニコミ誌「ショッパー」でのカラー写真付の広報のおかげで10時近くになると、会場の集いの広場に、来るわ、来るわ。総勢約250名にのぼる大盛況。



▶毎回子どもたちに大人気の木登り体験

小さな子供たちを連れた家族がまず目指したのは、ショッパーで紹介された、ツリーハガーズの木登り体験。たちまち予約で一杯になり、外れた子供や時間待ちの親子連れが安部さん率いる虫捕り体験や竹切り体験(元祖柴刈り大会)に向かうという流れが自然にでき、スムーズに進行しました。



▲元祖柴刈り大会で竹切りの説明を聞く大勢の親子たち

竹切り体験は、山根口近くの竹林で10組程度の親子連れを対象に、まず真弓さんがノコギリの扱いや里山で竹を切る意味をわかりやすく説明し、数グループに分かれ作業開始。今回は切り倒した竹をきれいに整理して片付けるところまで自分たちでやるということで、小さな子供には大変な作業でしたが、もっとやりたいとの希望が出て、予定を大きく上回る本数を片付けることができました。

昼が近づき集いの広場に戻ると、そこは人、人、人の賑わい。トン汁は予



定した100杯を大きく越えて振る舞い、お昼タイムになりました。その後、恒例の蛭川さんのオカリナ演奏を楽しみ、午後からの行事も大賑わい。

竹クラフトコーナーで子供たちにせがまれて竹トンボや虫作りに追われた森さんは昼ごはんを食べる時間が取れなかったと笑ってほやくほど。例年この竹クラフトは指導するくらぶ員が足りず、十分に楽しんでもらえたのが気になります。



▲森さんからぶ員指導のもと竹クラフトを楽しむ子どもたち

このほかにも、八事の蝶々や竹馬体験、丸太切り大会とセットになったくらぶオリジナルの焼印押しなど楽しいイベントが盛りだくさんの一日でした。

シリーズ『森の住人たち』⑬ ～メジロ(目白)～ 甘党

メジロ科 全長 11.5～12cm

環境 山地の林、樹林の多い公園・住宅地など



前方に、緑色っばいかたまりが見えた。車が出払ってがらんとした駐車場に、そこだけが異空間のよう……。近づくと、そのかたまりはメジロだった。反射的に拾いあげる。すでに体は冷たい。全く傷はない。何か障害物に強くあたったようだ。小さく、ほっそりとした体つきである。

くちばしの下部分、想いのほか鮮やかな黄色であることに驚く。日頃、「ほらメジロ、メジロがいるよ」などといっているものの、気づかないことも多い。見ているようで、見えないことを思い知る。

くちばしが細いのは、花の蜜を吸いやすいからだ。メジロ(目白)の名の由来通り、目の周囲には白いリングがある。さらに注意して、くちばしに側のリングの一部が切れているのを確認する。

メジロは、ウメの花の蜜が好きだ。“甘党”なのである。ウメの枝に止まっている鳥を見つけると、「梅に鶯」の言葉をつい思い出す。しかし、大抵はウグイスではなく、メジロである。

メジロの聞きなしは「長兵衛忠兵衛長忠兵衛」である。「チーチュールチュール・・・」と複雑で連続して鳴くさえずりが、それにあたる。地鳴きは「チー」と細い声。「キリキリキリ・・・」は警戒の鳴き声といわれる。

そろそろウメの花が咲き始める季節……。風のない朝、冬木立の森をゆっくり歩いてみよう。メジロが吸蜜するしぐさや、白や薄紅色の花から漂うふくいくとした香りに、心なごむひとときが約束されるだろう。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

定例活動／9月24日(土)

「森の解説板づくり」

真弓 浩二

「相生山緑地オアシスの森」がオープンして、早7年半もの歳月が過ぎました。名古屋市による当初整備や私たち森くらぶの活動等によって、それまで一部の人にしか知られていなかった存在から、今では数多くの市民の皆さんに親しまれるようになってきました。活動中の私たちに対しても、散策に訪れた多くの方々から「ご苦労様!」「気持ちのいい森になりましたね」と温かい言葉がけがあり、疲れが癒される思いがします。

一方、樹木や竹の除伐、竹炭焼きなどの活動に対して疑問の声も聞かれました。森くらぶとしてはこれらの声に対して、森づくり活動の目的や意義、さらにこれらの活動を名古屋市と協働で進めていることを説明する必要があると、2002年12月、林内5箇所に解説板を設置しました。この解説板もその

後の歳月で老朽化してきておりリニューアルを図る必要がありました。

今回の活動では、天白土木事務所から杭の支給を受け、会員の野浪さんには材料・工具一式を調達・準備してもらい、頑丈でカッコいい解説板が出来上がりました。



▲解説板が見やすいよう斜めに一定の角度で設置するため、杭に加工を施す。

精度の高い丁寧な製作・施工で思いのほか時間がかかってしまい、この日の成果としては「野辺の小径ルート」



沿いの「トンボ池」「竹炭焼き窯」「ピートルアパート」の3箇所となりました。今後「アカマツ林再生」「ツツジの園づくり」「竹林管理」についても順次設置していきたいと考えています。

オアシスの森にお越しの際は、ぜひご覧ください。

▶丁寧な仕上げを求め、打ちも慎重に行われた。杭



定例活動／11月26日(土)

「山根口付近の竹林管理」

村田 英二

11月の定例活動は山根口付近の竹林管理を行いました。午前中は約15名、午後は少し減りましたが、多くの会員が参加しました。

山根口付近の竹林はこれまで随分手入れをしていましたが、最近は少し荒れてきた様子だったので今回の管理でとても綺麗になったと思います。

作業は、恒例の伊藤晶子さん指導のストレッチ体操を行った後に込み入った竹の間伐を行いました。



▲竹炭材にするため、切り出した竹を炭焼き窯まで運び出す。

伐採した竹は解体して決められた場所に置きました。

会員の方々は久しぶりの竹切りを楽しんでいる様子でした。もちろん私も楽しかったです。



▲竹炭材として一定寸法に切りそろえ、メープル材を使って積み上げる。

一方、今年度の炭焼きの準備として伐採した竹を使って、竹炭の材料づくりも行いました。竹割り器具が5月の火事の際に小屋の中で火を浴びたことから、使えるかどうか心配しましたが



使用上の問題はなく安心しました。この材を使ってこれからも炭を作りたいと思います。

汗をかいた後、みんなで食べる昼食は大変に楽しかったです。私は中島さんからビール、森さんからおつまみの差し入れにお昼休みは極楽気分でしたが、午後の作業がけっこう大変でした。

作業の最後に火事の燃えがらのスレート屋根の破片等をビニール袋に入れて片付けをして、旧小屋周辺は見違えるようにきれいになりました。

竹林管理は森くらぶの原点です。人の輪をさらに広げて、楽しく活動が続けていければ良いと思います。

特別活動／11月12日（土） 「野鳥観察と巣箱点検」

伊藤 晶子

11月12日、古澤先生を迎え、新メンバー3名を含む10名で、昨年掛けておいた巣箱の点検を行いました。

風は少々強く吹いていましたが、ヤマハゼ、ヤマウルシが真っ赤に染まり、アオハダも黄葉し始めた森で、期待に胸ふくらませながら最初の設置場所へ向かいました。

去年は、9個の巣箱の内6個をシジュウカラが利用し、その他はヤモリ、アシナガバチ、土バチ等に利用されていました。

三又の小枝を刺した3mの竹竿を操って最初の巣箱を降ろしました。"今年は如何に?"とワクワクして蓋を開けると、コケ類少々とフンだけが入っていて、ねぐらとして利用はされたものの営巣はされていませんでした。次への期待を秘めて設置場所を順に訪れましたが、空、空、空・・・。または途中放棄の巣箱ばかりで、竹竿を操る腕も疲れてきた頃、シンボルツリー近くの巣箱に着きました。ここは中にコケがびっしり敷き詰められ、その上に

犬の毛を広げて利用されていました。全員から歓声が上がり、来年へと希望が膨らみました。

結果は14の設置個所の内、利用なし：7、途中放棄：2、ねぐらとして利用：3、営巣：2、でした。

シジュウカラは一羽で年間10～11万匹もの虫を食べてくれる森の守り神でもあります。鳥類に異変か？今年の巣箱の利用率の低さに古澤先生も首をかきあげていました。そういえば今年はシヤシャンボの葉が虫に食われて実があまりついていません。今後の調査観察が重要であると思います。

特別活動／11月19日（土） 「菅田収穫祭参加」

伊藤 晶子

11月19日、菅田収穫祭にブース出展をしました。当日は、雨は降らなかったけれど強風が吹く肌寒い日となりました。

周りのブースには取れ立ての新鮮な野菜が山積みされ、広場の片隅からは焼き芋の良い香りが漂い、人々の関心はそちらへ。それでもブルーシートを広げ、大根でっぼう、水鉄砲、竹とんぼ、コマなどを並べると、4～5年生の男子3人組が興味を示してやってきました。森さん、大館さん指導のもと、竹を組み立てて鉄砲を作り、サイ

コロ切りの大根を刺してピュンピュン飛ばして遊び始めると、人垣ができて順調な滑り出しとなりました。

鉄砲作りの順番待ちの間、跡見さん特製の竹とんぼで遊びました。上手く飛ばせない子どももかなりいて、見かねた見物人の中から指導者が出てきて、竹とんぼ飛ばし競争になったりして、寒い中でも結構盛り上がりしました。正午で終了となりましたが、参加者63名で主催者側の予想を超えたそうです。温かい芋煮汁とおにぎりを振る舞われ帰路につきました。

会員募集中！

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円（保険料含む）です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先（郵便局）
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725
連絡は事務局までどうぞ

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

2月25日(土) アカマツ林再生プロジェクト

3月25日(土) 第8回萌木まつり

4月22日(土) 2006年度総会 + a

「4月の陽気のいい時期にカラダを動かさないのはもったいないねー。」ということで、今度の総会は、朝から植生管理作業などの後、午後3時頃から集いの広場で行うことになりました。

総会は、次年度の活動内容など、重要な話題がいっぱいです。是非ご参加下さい！

ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらぶのホームページをもっと楽しくしたい！” “定例活動には出られないけど、自宅でできることなら手伝いたい” 等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi_k@muf.biglobe.ne.jp（近藤）

情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局
伊藤百寿人 052-895-8523
中島己治男 052-803-9534

■ホームページをご覧下さい

URL address : <http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>

- ★ ニュースレター（本号）のカラー版（PDFファイル）がダウンロードできます。
- ★ 定例活動・特別活動の報告や予告（チラシ）を随時更新しています。